

会 議 録

会議の名称	平成28年度第1回川越市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成28年11月9日(水) 午前10時00分開会 午前11時15分閉会
開催場所	川越市役所7階 7B会議室
議長(委員長・会長)氏名	議長(会長):新井正司
出席者(委員)氏名(人数)	副会長:大塚淳 委員:神田賢志、最首洲子、谷口義治、塚越恵美子、吉敷賢一郎 樋口直喜、小高浩行、池浜あけみ、伊藤正子、近藤芳宏 片野広隆、上領園子、齊藤正浩、坂根裕子、福島満 松波淳也(17名)
欠席者(委員)氏名(人数)	委員:栗原裕子、坂口孝、村野昭人(3名)
事務局職員職・氏名	環境部長:大野隆 環境部副部長:箕輪信一郎(環境政策課長) 環境部参事:新井律男(環境対策課長)、福田忠博(環境施設課長) 課長:高橋宗人(産業廃棄物指導課)、松本清一(資源循環推進課) 矢島英也(収集管理課) 副課長:波立浩一(資源循環推進課) 副主幹:阿部秀樹(資源循環推進課)、小名木真一(資源循環推進課) 主査:斎藤寛之(資源循環推進課)
傍聴者	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 報 告 (1)平成27年度減量・資源化施策の取り組みについて 3 その他 4 閉 会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・平成27年度減量・資源化施策の取り組みについて【資料1】 ・平成27年度 清掃事業概要(統計編) ・川越市廃棄物減量等推進審議会委員名簿 ・川越市廃棄物減量等推進審議会条例 ・川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編(貸出用) (平成23年度・平成28年度)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司 会 (資源循環推進課副課長)	<p>定刻となりました。</p> <p>ただ今より、平成28年度第1回川越市廃棄物減量等推進審議会を開会させていただきます。本日は、21名の委員さんの内、18名の委員さんにご出席いただいております。川越市廃棄物減量等推進審議会条例第5条第2項に基づきます過半数に達しておりますので、会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>それでは、当審議会会長より開会のご挨拶をいただきたいと存じます。</p>
会 長	【挨拶】会長挨拶
司 会	<p>ありがとうございました。</p> <p>今回は、平成28年度の第1回目の会議ということもあり、初めての委員さんもいらっしゃいますので、各委員さんより自己紹介をお願いしたいと思います。</p>
各 委 員	【自己紹介】出席した各委員の自己紹介
司 会	<p>ありがとうございました。続きまして、環境部長より環境部職員の紹介をさせていただきます。</p>
環 境 部 長	【環境部職員紹介】
司 会	<p>それでは、川越市廃棄物減量等推進審議会条例第4条第2項の規定に基づき、会長に議長になっていただき議事を進めていただきたいと思います。会長よろしくお願ひいたします。</p>
議 長	<p>ただ今から、議長を務めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、報告に入りたいと思います。</p> <p>報告事項(1)「平成27年度減量・資源化施策の取り組みについて」を事務局からお願いいたします。</p>
資源循環推進課副主幹	<p>それでは、「平成27年度減量・資源化施策の取り組みについて」を資源循環推進課副主幹よりご報告させていただきます。</p>

	【説 明】資源循環推進課副主幹
議 長	何かご質問などございますでしょうか。
委 員	資料1「2. その他の施策（1）家庭系」の「2. 施設見学等の実施」について、つばさ館来館者数は年々増加しているようですが、団体数等は減少しています。個人的な来館者が増えたということでしょうか。
資源循環推進課長	つばさ館の団体見学者数は減少しておりますが、つばさ館まつりなどのイベントも開催させていただいており、また、家具や雑貨などの頒布もさせていただいておりますので、その利用者が増えているという認識でございます。
委 員	先日、つばさ館まつりに参加させていただきましたが、小物家具などをその場で購入できることや、アイドルグループを活用するなど、来館者数を増やす効果があったのではないかと思います。 次に、清掃事業概要の37ページ「第8節 土壌改良材『肥え土』生産量」ですが、昨年度の清掃事業概要では「頒布量」となっています。何か理由があるのでしょうか。
資源循環推進課長	土壌改良材については、最終的には有償で頒布させていただこうと考えております。 考え方で頒布量と表記していましたが、生産した量でしたので、こちらについては「生産量」という表記で改めたということです。
委 員	清掃事業概要の30ページ「第2節資源化量（2）資源化率の推移」について、平成27年度の資源化率が減少している理由を教えてください。資源化率は、目標値を30%としているので、ここまで下がっているのは問題があると思います。また、資料1「2. その他の施策（1）家庭系 7. 家庭ごみ有料化の検討」ですが、家庭ごみの有料化は、重点的に取り組む施策としてごみ処理基本計画に位置付けられています。その進捗状況についてもお伺いしたいと思います。
資源循環推進課長	まず、資源化率が下がっている状況につきましては、基本的に紙媒体のものが少なくなってきたりまして、紙類の資源化が少なくなっているということが要因ではないかと考えております。 また、家庭ごみの有料化の関係ですけれども、この後の、その他の

	<p>ところで、状況についてお話しさせていただこうと考えておりますのでよろしくお願いたします。</p>
<p>委員</p>	<p>清掃事業概要の19ページ「(2) ごみ排出量の推移」を見ると、ごみの排出量が減少していますが、26ページ「(4) 最終処分量」が前年度と比較して増加しています。その要因についてお聞きしたいと思います。また、資料1「1. 定量的な効果が期待できる施策」の「8. 焼却灰等の再資源化」の量が減っていることとの関連性があれば教えていただきたいと思います。</p>
<p>環境施設課長</p>	<p>一概にごみが減ったから最終処分量が減るといったものではありません。状況によっても多少変わってくるということです。</p> <p>また、焼却灰につきましても、一概に燃えるごみが減ったからといって焼却灰が減るのではなくて、質によっても変わってくると認識しております。</p>
<p>委員</p>	<p>残さとなるごみが多かったということでしょうか。</p>
<p>環境施設課長</p>	<p>ごみの質によっても変わってきますので、具体的な割合は申し上げられませんが、内容物によっても多少変わってくると認識しております。</p>
<p>委員</p>	<p>再利用できる部分が少なかったため資源化量が減ったという解釈でいいのでしょうか。</p>
<p>環境施設課長</p>	<p>ごみの内容によっても変わってきます。色々な組成がありますので、その部分によって量が変わってくると感じております。</p>
<p>委員</p>	<p>不燃性のものが可燃ごみの中に多く入っていたために残さが増えたということは考えられますか。</p>
<p>環境施設課長</p>	<p>考えられると思います。当然燃えるごみとして市民の皆さんが分別という形でお願いして協力していただいておりますが、ある程度処理して、不適物については再資源化できませんので、内容によって変わってくると思います。</p>
<p>資源循環推進課長</p>	<p>清掃事業概要の38ページ「第9節 焼却灰等の再資源化」の「焼却灰等の再資源化実績」にもありますが、委員さんのお話とは別なん</p>

<p>委員</p>	<p>ですけれども、焼却灰の再資源化の成り行きというのがこちらの表にまとめてありますのでご覧いただければと思います。</p> <p>資料1「2. その他の施策（1）家庭系」の「1. 出前講座等の推進」について、平成26年度と比較すると増加しておりますが、何か要因があるのでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課長</p>	<p>平成27年度出前講座につきましては、公民館講座を受講される方や小学生などを対象に実施しております。増えたことにつきましては、かわごえ環境推進員さんなどからの要望が多かったということもございまして、回数が増えたと考えております。かわごえ環境推進員協議会で雑がみを減らす内容の冊子を作ってお配りをしているんですけれども、そういうところから、講座の要望が多かったということと認識しております。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど、将来的に土壌改良材を有償頒布したいというお話がありましたが、現在は無償配布のためかなりの人気があります。これを有償とした場合、全て売り切れる見込みがあるのか、余った場合は処分することになるとは思いますが、見通しはついているのでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課長</p>	<p>土壌改良材の頒布の状況ですが、平成22年度から始めておりますけれども、平成25年度が149tでございました。平成26年度になりまして365t、平成27年度につきましては、294tでございまして、ご指摘がございましたとおり、大変人気がございます。今は原料自体が足りない状況にございますので、これを少し増やしても十分に売れるのではないかと考えております。余った場合、処分することのないよう、ご指摘の部分も含めまして十分検討していきたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>平成27年度の取り組みをご説明いただきましたが、目標に対する評価について、達成できているのか未達成のものがあるのかを教えてくださいたいと思います。</p>
<p>資源循環推進課長</p>	<p>今回報告させていただいた内容につきましては、平成27年度に実施した減量施策をご報告させていただきました。平成23年度版のごみ処理基本計画の50ページに減量資源化の目標値がございます。平成27年度の結果及び前計画の統括につきましては、今回の説明の中には入っていないということもございますので、改めてご報告させて</p>

	<p>いただきたいと考えております。現状では、1人1日当たりのごみ排出量は、目標値の880g/人日以下に対しまして、ぎりぎり880gということでクリアできたのかなということを現在検討中でございます。他のものにつきましては、平成27年度の実績と比べますと若干目標に達していないという状況でございます。全般的な話ということでございますけれども前計画の目標値に対する状況につきましては以上でございます。</p>
<p>委員</p>	<p>清掃事業概要38ページ「第9節 焼却灰等の再資源化」の「焼却灰等の再資源化実績」について、資源化センターの焼却炉は金属を回収できると聞いたことがあります。この表にはその部分の数値がありません。今は回収されていないのでしょうか。</p>
<p>環境施設課長</p>	<p>資源化センターの焼却のシステムですが、熔融という形で処理をしています。熔融は、まず、出てきたごみを燃やすことになりませんが、その燃やした部分について、下の方から鉄分ですとか不適物などが下から出てくるというような部分で鉄などを回収しています。</p>
<p>委員</p>	<p>この機種は金属が取れるからいいということだったと思いますが、今は回収していないということでしょうか。</p>
<p>環境施設課長</p>	<p>金属自体は下から取り出すことができるということです。</p>
<p>委員</p>	<p>清掃事業概要にはデータはないのでしょうか。</p>
<p>環境施設課長</p>	<p>この表の中には入っておりません。</p>
<p>委員</p>	<p>質が悪くて値が付かないということもあるようですが。</p>
<p>環境施設課長</p>	<p>破碎した鉄は有価物として再利用させていただいているんですが、破碎した後に、大きなものと小さなものと値段が分かれておりますので、鉄という部分できちんと処理できるものについてはきちんと処理できるんですが、小さな破碎したもので、質が悪くなってしまう。</p>
<p>委員</p>	<p>平成26年度の実績に対する評価などを踏まえて、平成27年度はどのようなことに力を入れたのか、どういうところを改正されたのかを教えてくださいたいと思います。</p>

資源循環推進課長	<p>平成27年度につきましては、特に力を入れて検討してきたのは、先ほど申しあげました資源物を増やすために草木の関係を増やす関係ですとか、事業系ごみに関しましては、減らすために多量排出事業者等に対しまして啓発活動を行いました。また、処理施設に関しましては、西の解体が平成28年度にまとまりましたけれども、そういうものの施設の解体等に関します事業につきましても進めていきたいと環境部としては考えてまいりました。大きなカテゴリーでございますけれども、基本的にやってきましたのはそのようなことで、総括とさせていただきます。</p>
委員	<p>資料1「2. その他の施策(1)家庭系」の「4. 集合住宅における生ごみ処理事業」について、月吉町集合住宅1カ所で50世帯を対象に実施しているようですが、今後これをどうやっていくのか、1カ所で続けていくのか、有効な手段であれば増やしていくのか、そのあたりの評価と今後の展望のようなものがあれば教えていただきたいと思っております。また、JAも関係しているようですので、JAもどのように考えているのか分かれば教えてください。</p>
資源循環推進課長	<p>50世帯を対象に実施しているということですが、現在平均5世帯ぐらいの方がごみを投入しています。問題としては集合住宅そのものの老朽化が進んでいるということと、転入する人が少ないということ、居住する方の高齢化が進んでいるということで、なかなかこれが進んでいないという状況です。導入したのは平成13年度ですが、機械のメンテナンスもなかなかできない状況でございます。集合住宅のごみ処理に関しましては効果としては、1.2tぐらい家庭系ごみの減量に効果があったというふうに考えています。なかなか進まない理由として、機械の購入、維持管理に経費がかかるということで、拡大していないという状況でございます。今後続けていくのかに関しましては検討したいと思っておりますけれども、今現状で拡大していくということは難しいのではないかと感じているところです。</p>
委員	<p>先ほど、平成27年度の評価については改めて報告するとのことでしたが、いつまでにどのような形でご報告いただけるのかお聞きしたいと思っております。</p>
資源循環推進課長	<p>前回の計画に対する目標値に対する達成状況につきましては次回の審議会でご報告したいと考えております。</p>

議 長	<p>他にご質問等がないようでしたら、次第3「その他」について事務局、何かありますか。</p>
資源循環推進課長	<p>はじめに、今回は平成27年度における減量・資源化施策の取り組みについて報告させていただきましたが、前計画の総括的な結果についての報告は行っておりません。従いまして、前計画の目標値に対する結果につきましては、清掃事業概要がとりまとまったばかりということもございまして、今後の審議会で改めてご報告する予定です。</p> <p>次に、川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」についてでございます。当該計画は5年毎に改定されており、本審議会の答申をいただき、平成28年3月に「ごみ処理基本計画」を改定いたしました。その中で、計画の進行管理が明記されておりますが、その方法等を具体的に定めておりません。現在検討中でございますので、こちらも今後の審議会で報告させていただきます。</p> <p>次に、家庭系ごみの有料化に関する事項でございます。こちらは、本審議会より平成26年11月14日付、家庭ごみ等の費用負担の答申において、「循環型社会の形成に向けた施策のひとつとして推進していくべき」とされておりますが、但し書きで、「社会・経済情勢や市の廃棄物処理の状況等を踏まえて慎重に検討する」よう要望されております。現状として、現下の社会・経済情勢は、景気低迷を理由に消費税引き上げ時期が2年半先の平成31年10月1日に延期される手続きが進められており、昨日税制改正法案が衆議院を通過したとのことです。今後、参議院での審議を経て成立する見込みです。また、市の廃棄物処理の状況でございますが、平成27年度は、ごみの排出量が前年度より減少している状況でございます。これらを総合的に検討した結果、現在は家庭系ごみの有料化をする時期ではないとの判断をいたしておりますので、ここで皆様に状況のご報告を申し上げます。なお、家庭系ごみの有料化については、取り巻く状況を十分踏まえながら、具体的な制度の設計などについては、引き続き検討を進めていきたいと考えております。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。これを持ちまして議長の職を解かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
司 会	<p>それでは、閉会のご挨拶を副会長よりお願いいたします。</p>
副 会 長	<p>審議員のみなさまには、慎重なご審議をいただきまして誠にありがとうございました。</p>

	以上をもちまして、本審議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。
--	---